

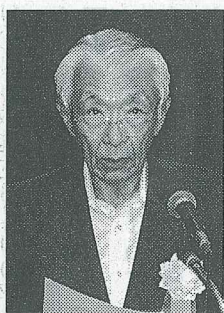
各団体の総会

廃石膏ボードの有効活用研究促進

泥土リサイクル協会

泥土リサイクル協会（木村孟理事長）は25日、17年度定時総会を名古屋市中村区の名古屋マリオットアソシアホテルで開き、16年度事業・収支決算報告や17年度事業計画案・収支予算などを審議、承認した。

冒頭、木村理事長は「これまでの12年間の当協会の活動を振り返ると、泥土のリサイクルでは建設汚泥だ



けでなく、浚渫土砂、災害堆積土砂などの高含水泥土の有効利用まで広がり、建設副産物の有効利用でも石炭灰や製紙焼却灰、鉄鋼スラグなど多岐にわたっている。これに加え、現在廃石膏（こう）ボードの有効活用の研究も進めている。この研究は当協会が10年前から提唱してきたもので、これまでの事業活動が認められた成果だ」と述べ、今後も協会活動を積極的に展開していく意向を示した。写真

17年度の事業計画は▽泥土リサイクルの促進▽廃棄物・リサイクル処理事業と他分野事業との連携による地域の活性化・価値創出▽自然由来の汚染土壌への対応▽大規模地震の備えの4項目が柱で、これらの事業に取り組む。